

# ふれんど通信

第12号

発行 社会福祉法人羽生福社会 児童養護施設ふれんど

〒348-0047 羽生市大字下新郷 666 TEL048-560-5866

## 「卒業」と「自立」 施設長 吉岡 一孝

また春が来て「卒業」の時期となり、惜別の季節でもあります。今年は卒園・卒業児が年長児4名、小学校6名、中学3名、高校1名の合計14名です。この高校生一人はふれんどにとって初めての高校卒業生で、在学中にヘルパー資格を取り4月からは介護施設で働くことになっています。実はふれんどのこの6年間で入園者101名のうち高校受験に合格した児童は計14名もいます。その内訳はふれんど在籍中が6名（3年1名・2年3名・1年3名）、家庭引き取りが7名（うち3名が引き取り後卒業、3名が退学、1名が在学中）、1名が措置変更となっています。在籍・在学中の6名の高校生には何としても頑張っ





て卒業して欲しいものです。しかし卒業はしてもその後は相当の困難が待ち受けています。それを知ってか知らずか本人達は呑気なところがあります。いわゆる社会の厳しさが分かっていない様です。（あまりそれを言っ



てプレッシャーになりすぎても困りますが・・・）これは児童養護施設に限ったことではなく、この社会全体の若者の問題と言わざるを得ません。またその原因が何かも考えざるを得ません。私流に考えると、この国が農業社会から工業社会に転換しそしてさらに第三次産業の発展のために、社会が肥大化・複雑化して見えづらくなったためと思われる。そのために若者が社会に対する関心もなくなり、日本の人口や戦争がいつ終わったかを知らない大学生が多い有様です。いまや高校卒業生の半分以上が短大・専門学校以上に進学する時代ですが、彼らは何を目的に進学するのでしょうか？



私が中学校卒業の時代は多くの人たちがいわゆる“金の卵”と呼ばれて大都会に巣立って行きました。彼らは社会にとっての金の卵であるだけでなく、本人自身にとっても頑張れば将来は親方や棟梁・店主や社長になれる可能性のある金の卵であったのだらうと思います。経済成長に寄与出来るだけでなく、個人的にも夢や希望が持てる時代であったと共に彼ら自身の中にも“自立”のための自覚や能力も備わっていたと言える時代だったと考えざるを得ません。現代とどこが違っていたのでしょうか？

# 卒園 おめでとう

ふれんど内の昼間保育を卒園し、4月からはピカピカの1年生です！担当職員からのメッセージです。

Sちゃんへ      
 Sちゃん  
 卒園おめでとう!!

もう1年生になるだね。いっぱい  
 お友達 <sup>ともだち</sup> つかって、たのしい <sup>たのしい</sup> 学校生活を  
 送 <sup>おく</sup> っ てほしい <sup>おほ</sup> と思います。  
 これからも いつも ニコニコ   
 お手伝い <sup>おたすけ</sup> いっぱい <sup>いっぱい</sup> してくれる  
 Sちゃん <sup>さん</sup> ぞいで <sup>ぞいで</sup> ください <sup>ください</sup> 

おたんきょうも  
 がんばってね   
 B棟職員より 

☆Yちゃんへ☆

卒園おめでとう!! 4月からは1年生  
 だね。お絵かきも上手にできる時  
 になって。ひらがなも上手に書ける  
 ようになったね。

Yちゃんの赤いランドセルも楽しみ!!  
 お友達もたくさんできずよろこぶよ。  
 元気で優しい1年生になってね!!




☆Yちゃん担当より☆

Sくんへ

かめんらいだーごっこか  
 たいすきなSくん。だけどちよひ  
 なきむしたSくん。  
 だけど、しょうからこうへいったら  
 けんきでたくましく、おともだちに  
 やさしく、すてきなこころをもった  
 Sくん(にせいちょうしてね!!)  
 おうえんしているよ!!

Sくん担当  
 S.S

Mくんへ  

卒園おめでとう!!  
 笑って・泣いて・怒って……  
 心に素直なMくん  
 小学生にな、ら  
 たくさんお友達を  
 つくってね   
 お勉強も頑張ろうね!  
 D棟職員 K M へ  

# 卒業 おめでとう

就職 おめでとう！ 中学校卒業 おめでとう！ 小学校卒業 おめでとう！

"ふれんど"に入所してから約5年、  
今私は"ふれんど"初の卒園生として  
卒業しようとしています。

"ふれんど"卒園後に希望通りの進路を  
歩めること、  
そして無事に卒園生として卒業できるのは  
"ふれんど"での生活に携わる全ての方の  
支えがあってこそだと思います。

二人からは"ふれんど"の先輩ではなく  
社会人として責任のある生活を送らな  
ければなりません。"ふれんど"で  
学んだこと、感じたことを胸に自分だけの  
未来を歩んでいきます。

高3 Y.M

私は、修学旅行です。  
みんなとたのしく、行けてよか  
たです♥  
あと、残りの中学校生活を  
みんなとたのしく、いきたいです。  
あと、残り、時間を大切に  
いきたいです。中3 T.A

高校生になったらね  
セッター歌手になる。  
何が何でも  
叶えてんたよ。

中3 N.A

中学校での3年間  
は、長いようで短  
くあっという間で  
した。先生方にも  
迷惑かけたりした  
けど、無事に卒業  
できてよかったで  
す。高校3年間は、  
今までよりもっと  
楽しみたいです。中3  
H.T



## あすなろから～この一年を振り返って

「地域に根ざした家庭的な生活の場、子どもの社会的自立の促進を目的とする」この一年は、目的の土台をつくることが第一でした。無理せず、自然体で生活が送られるようにと、できるところから始めていこうと思いました。ひとりひとりの小さな変化が見えてきました。二年目、元気にスタートしたいと思います。

(荻原職)

本体施設との生活の違いに戸惑ったり、初めて女子児童担当となり、男性職員としてできる支援に限界があることを実感した…そんな一年でした。しかし、より家庭に近い雰囲気は子ども達にとって、また私達にとっても「様々な事にチャレンジができる場」です。子ども達を応援しながら職員も力を合わせ、試行錯誤しながらより良い「家庭」を作っていけたらと思います。

(田中職)

地域小規模施設は家庭的と聞きますが、そのことを、あすなろを担当して実感しました。子どもたちは、留守番ができたり、おつかいができたり、一人で買い物に行けるようになった子もいます。小さなことですが、少しずつ成長しています。そして、やってみたいという言葉も多く聞かれます。子どもたちの気持ちを大事にし、多くのことを体験させてあげられる場にしたいと思います。(郡司職)

### 心理士から

#### 遊 び の 効 用

子どもにとって遊びは重要な役割を持っています。子どもは遊びを通していろいろなことを獲得していきます。自分から遊びを考えることで自発性、創造性が生まれます。遊びの中でもルールを守らないと仲間外れにされたり、嫌われてしまうので、友だちと仲良く遊ばないといけないということを自覚し、社会性、道徳性が育ちます。そして、何よりも重要なことは、遊びは心の中のストレスを発散させてくれることです。

子どもでも学校生活などでストレスが溜まります。ストレスとはとても厄介なもので、これが溜まり過ぎると心の病気だけではなく、体にもいろいろな支障が出てくることはよく知られています。ストレスは万病の元です。ストレスが溜ったらすぐに解消することが大事です。これは大人でも同じです。大人はこれを趣味で適度に解消しますが、子どもはこれを遊びの中で解消します。

遊びでも、強制されたり、自分の意に反する遊びはかえってストレスとなります。何の拘束もない自分が選んだ遊びをすること、何よりも楽しく遊ぶことが一番効果的です。プレーセラピーとはこれを応用しています。

遊びが良いからと言って、なんの緊張もなく遊び呆けていたら、これもまた人の成長にとってマイナスです。人は緊張の場面とリラックスの場面が適度にあることが一番良いようです。昔からよく遊べ、よく学べと言われていますが、まさにその通りだと思います。

(守屋昭一)

## 日誌

### 12月

- 1日：小学校授業参観
- 3日：羽生市カルタ大会
- 7日：職員会議 小学校連絡会  
中学校授業参観
- 13日：草加支所訪問調査
- 22日：小・中・高終業式
- 24日：クリスマス会
- 28日：餅つき

### 1月

- 1日：書初め会
- 3日：F棟外出
- 5日：D棟外出
- 6日：E棟外出
- 7日：B棟外出
- 10日：始業式
- 18日：職員会議
- 25日：自立支援会議
- 27日：小学校 一緒に楽しもう会
- 29日中1スキー学校(～31日)

### 2月

- 1日：中1振替休日  
誠和福祉高校3年家庭研修
- 3日：中学校入学説明会
- 7日：中2校外学習
- 8日：職員会議
- 9日：小学校入学説明会
- 13日：実習生入りA・F棟(～24日)
- 15日：所沢児相訪問調査
- 20日：公立高校入学願書提出(～21日)
- 22日：自立支援会議  
受験志願先変更日(～23日)
- 24日：小学校授業参観

- 27日：受験志願先変更
- 29日：熊谷児相との連絡会

### 3月

- 2日：公立高校入試(筆記)
- 5日：公立高校入試(面接)
- 7日：職員会議 小学校巣立ちの会
- 9日：公立高校合格発表  
誠和福祉高校卒業式予行
- 10日：誠和福祉高校卒業式
- 15日：中学校卒業式
- 19日：中学校PTA 高校入学説明会
- 21日：自立支援会議
- 23日：小学校卒業式
- 26日：小・中学校修了式  
卒園・卒業を祝う会

#### ～寄贈品～

比賀電気、マギーシューズ、チュチュアンナ、毎日新聞、高橋敏雄、清水運送、角田満枝、郵政福祉関東地方本部、古島宏美、岸清志、桑野食品工業、ヤクルトグループ、全国シャンメリー、三国コカコーラボトリング、羽生地区更生保護女性会、小嶋昭太郎  
(敬称略・順不同)

#### <編集後記>

12月のクリスマス会では、幼児さん・小中学生の可愛い歌とダンス、1月は子どもたちのパワフルな字を見ることができた正月行事がありました。

いよいよ卒業式がある3月。別れの月がきました。子どもたちの新しい門出を祝いたいものです。